

e-ビーフNEWS 北の牧場から

February 2015

氷上の上

わざわざ、寒いのに外に出なくてもと言われそうですが、氷上釣りはまた格別の妙味に尽きる釣りです。1月に入ると気温も-10℃以下になり十勝の湖沼は、一面の氷原に変わります。30cm以上にはった氷を、専用のアイスドリルで穴をあけ、釣り糸を垂らす。あの小さなワカサギ(8~10cm)が妙に大きく感じます。釣りあげたワカサギはぴちぴちと元気よく、針を外してポンと投げおくと急速冷凍で鮮度良く凍ります。外道(本命のワカサギ以外の魚)で、ニジマスやサクラマスがかかります。ワカサギを追いかけまわしているうちに、釣れてしまうのでしょうか。30cmぐらいのマスがかかると引きが豪快ですね。どちらが本命なのか分からなくなります。

朝、7時頃まで薄暗かったのが、日の出もやっと折り返し地点を回り、徐々に早くなってきました。まだまだ、冬も本番ですが、お日様が伸びることで、何か明るくなりますね。暮れの大雪で痛めた50?肩がまだ痛いので雪が降らぬことを祈りつつ春を待つ今日頃ごろです。



NEWSばか読み

- 米相場 11月相対相場で過去最安値を更新
12/27:みんなでコメを食おう
- 日本酒 乾杯条例 各地に広がる 12/29:牛肉で乾杯してくれ
- 鶏インフル 各地に広がる恐れ 12/30:空爆受けたら防空体制は難しいか
- 大豆相場 国産人気で高値1万2千円超 12/30:おいしい豆腐が食いたい
- 小売大手 初売り堅調 1/3:せめて正月はお金を使うぞ
- 政府 農協改革 指導権撤廃し任意団体に
1/4:えげつないピンポイント攻撃
- 築地 マグロ初競り451万円2年前の1/30に 1/6:単発沸騰の弊害
- マック ナゲットに異物 1/6:マックの存在危うし
- 愛知県 高齢者の農業従事 認知症に予防効果
1/6:家庭菜園始めました。
- 原油急落 50ドル割れ 世界金融不安へ
1/7:とりあえず車のガソリン確保
- 求人倍率上昇 就職数最低水準 1/7:選ぶな 仕事
- 名古屋大 今世紀末80m級スーパー台風が発生 1/7:必須 温暖化防止
- 15年食品トレンド 割安感鶏肉、機能性乳製品 1/7:機能性牛肉開発を
- 和牛素牛初セリ 需要高く高値継続 1/8:首閉まるぞ肥育農家
- 脱デフレで小売2極化 セブン最高益イオン大幅減益
1/10:業態分析の差

- ホクレン 乳価交渉早期決着
1/10:飼料代もろもろ経費クリアできるのかな
- 米国農業 穀物相場下落で不況の予感 1/13:米国政府の戦略を疑え
- 政府 農水予算昨対減 1/13:アベノミクスの影の3本の矢
- 農水 14年度農畜産物輸出最高、牛肉4割増し 1/14:円安基調を使え
- コープさっぽろ 電力小売りで組合員供給
1/14:エネルギーも売れる生協活動
- 日豪EPA発効 イオン牛肉セール開始 1/15:牛肉市況にジワリ
- ミニ規制緩和が拡大 企業実証特例、グレーゾーン解消制度
1/17:規制緩和に道を拓く
- すかいらーく 最高の収益拡大 シニア向け好調 1/17:爺婆 外食に走る
- モス 野菜自前農場から調達拡大 1/17:マック見習え
- 明治・森永乳業 中国でヨーグルト販売拡大
1/17:ジャパン食品の価値(勝ち)
- 道外の12月生乳生産減産続く 1/21:北海道に任せなさい
- イスラム国に邦人人質 1/21:阿倍ちゃん海外戦略効果
- 国会 耕作放棄地が増えたのは農業委員会の責任
1/22:農政に失敗の擦り合い
- 韓国/口蹄疫 台湾/鶏インフルまん延基調 1/23:訪日客を断ろう
- 神戸物産・白糠町 木質バイオマス発電稼働へ
1/23:牛床敷料不足が懸念
- 米国西海岸港湾スト 豚肉・ポテトなどに供給影響
1/24:外食産業、原料国内物に移行したら
- 生乳生産減少に底打ち15年度生産予測 1/24:安心できない基盤脆弱

東京直近NEWS (1/26 Shi-REPORT)

ホルス 全国的な出荷頭数の減少と正月休みの稼働影響から、1月も少ないことが見通される。2月も同じ傾向。1月中旬までの相場を見ると、ほぼ12月並みの高水準を維持している。各社、年明け時点で在庫が少なく、年明けに一齐に在庫補充とオーダーに応えるための手当を行って高値を付けている。販売は、12月のような上位部位の用途は大幅に落ち込み、赤身切落し需要が中心の年明け。年末製造の在庫品が2月初旬まで品質保持期限のため、この在庫の処分販売と年始製造玉が重なり正肉単価は低迷状況。末端販売先もパーツアイテムの確保が難しくなりつつあり、頭数減少の危機感徐々に募る。

経産牛 相場は相変わらず高値継続。頭数の集畜に苦戦。年末の相場はやや緩むも、年始は一気に高値に逆戻り。酪農の搾れ搾れ政策に変更は無く、飼養頭数の縮小からも出荷頭数の回復を見込める要素は少ない。枝相場高値維持と各メーカーの在庫希薄も変わらず。牛正肉の販売価格値上げも暫時交渉継続しているが、値上げ幅が追いつかない状況。値上げと同時にオーダー数量も縮小傾向。パーツ関連もスペック、ノーマル系ともに問合せは増加傾向。高騰している輸入物の状況も注視が必要。

活動のお知らせ

- 1月16日(金) 新得 道畜産試験場
第2回畜産技術研修会・理事会を開催いたしました。
シンポジウムの総括および次年度計画を検討いたしました。
6月13日(土) 総会、10月22日頃新得にて北海道肉牛研究会
20周年記念で合同シンポジウムが開催されます。
- 2月中旬予定 ポテトピール検討会 カルビーポテト(株)帯広工場



左先生の畜産学研究NEWS

今年から龍谷大学に農学部がスタートします。農学部の新設は35年ぶりです。コンセプトは、食の循環から農をとらえるというものです。農学は農業生産を支える役割がありますが、その前提の自然への理解に苦しんでいます。農業は自然相手に食糧を生産し、食糧は人間社会における戦略物質としての価値を生む構図から農産物は政治の駆け引き材料になります。今年には農協改革実行の年です、経済の原理だけの画一性よりも地域や自然相手の生産者組織の複雑な性格を理解し、国の食糧政策の担い手である農業・農家を確保する真の改革を願っています。今月のe-びーふNewsは前号以降入手した学・研究会情報を紹介し、十勝の2014年作況総括を概説します。

1. 環り協肉牛飼養技術研修会 1.16.

毎年環り協の定期総会の時に開催される肉牛飼養技術研修会は今年度2回目が新得で畜産試験場を会場に行われました。内容は、山本場長(佐藤幸信主査)の「肉牛研究の概要」と齋藤早春研究員の「黒毛和種去勢牛のとうもろこしサイレージ給与による肥育」という講演です。前者は組織改編で地方独立行政法人 北海道総合研究機構 畜産試験場となった特徴と厳しい現状の紹介でした。後者は昨年の環り協のシンポジウムでも話題提供された飼料用玄米とトウモロコシサイレージ(CS)を活用した黒毛和種牛の肥育試験の成績です。長年、同試験場で取り組んできたCSの肥育牛への利用は、TMR化せずにCS飽食で配合飼料を60%に制限してさらにその30%(DM)を破砕玄米で代替しても肉牛肥育が可能で体脂肪の黄色化はあまり格付けに影響しないという結果でした。試験場の肉牛グループの研究は道産肉牛として黒毛和種を対象に、道の「優良基幹種雄牛育成事業」として取り組み、「平茂勝」で有名な鹿児島産の種雄牛と肉質の良い道産繁殖雌牛との交配で優秀な「勝早桜5」を作出しました。

業」として取り組み、「平茂勝」で有名な鹿児島産の種雄牛と肉質の良い道産繁殖雌牛との交配で優秀な「勝早桜5」を作出しました。

2. 2014年の十勝 農業の概要

昨年、十勝毎日新聞が管内に全戸配布した「農業TOKACHI2014 今年の作況総括」は北海道 十勝総合振興局・十勝農業協同組合連合会・道農政事務所などの速報値を素に作られています。

1. 小麦は冬の少雪、春の干魃の影響を受け被害が出て品質も一層82-95%という成績です。
2. ジャガイモは全道の約40%の作付面積を誇る土幌・中札内などのでん粉工場は順調操業で、品質良好・豊作ですが価格は下落傾向。
3. ビートは管内で全道の約44%の作付面積となるものの病害で低糖度の15.1-.8に留まっています。
4. 豆類は長雨、干魃の影響も金時の色流れもなく、豊作が続き価格は下落しました。
5. 酪農は全道の30%を占める十勝の生乳生産量は微減し、2年連続生産減で、暮れのバター需要期に緊急輸入をしました。
6. 肉用牛の管内JAの取扱高は+20%となり、「十勝若牛」「十勝めむろろし」「十勝和牛」などの十勝牛のブランド化が進みました。
7. 8年ぶりに7月に帯広で開催された第3回国際農機展は十勝に20万人を集める経済効果をもたらしました。
8. TPP交渉の行方は日米政府の思いとは異なり漂流し、一足先に妥結した日豪EPAの影響で牛肉の市場価格が下落しています。

道総研 畜産試験場NEWS

破砕玄米40%混合濃厚飼料ととうもろこしサイレージの分離給与と肥育成績との関連



試験方法

- ・ 供試牛：黒毛和種去勢牛15頭 (CS米区・CS区：各6頭、対照区：3頭)
- ・ 肥育期間：10～28ヵ月齢
- ・ 試験処理：

	CS米区	CS区	対照区
粗飼料	CS		乾草 麦稈
濃厚飼料	飼料米40% 混合飼料	肥育用配合飼料	

濃厚飼料給与量(kgFM)

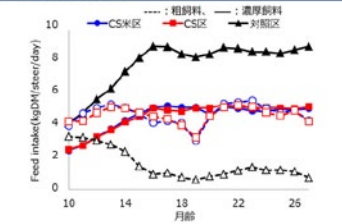
月齢	CS米区・CS区	対照区
10	2.4	4.0
11	3.0	5.0
12	3.6	6.0
13	4.2	7.0
14	4.8	8.0
15	5.4	9.0
16	6.0	10.0
17~28	6kg制限	自由採食



増体

	CS米区	CS区	対照区
体重(kg)			
開始時	318.3	318.5	313.7
終了時	812.7	785.7	802.0
日増体量(kg)			
前期	1.12	1.07	1.14
中期	0.91	0.83	0.96
後期	0.88	0.85	0.78
全期間	0.95	0.90	0.94

乾物摂取量

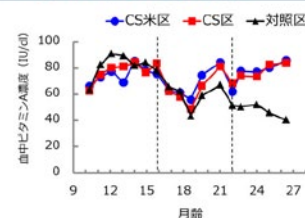


総飼料摂取量

	CS米区	CS区	対照区
乾物摂取量(kg)			
粗飼料	2478	2434	809
濃厚飼料	2400	2411	4135
原物摂取量(kg)			
粗飼料	7109	6968	922
濃厚飼料	2791	2779	4761

10～28ヵ月齢の乾物摂取量
粗飼料：CS米区・CS区(CS)、対照区は乾草および麦稈

血中ビタミンA濃度の推移

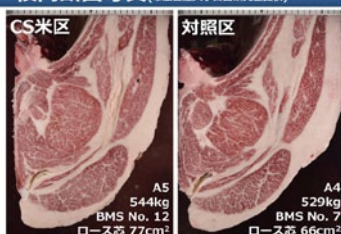


枝肉成績

	CS米区	CS区	対照区
枝肉重量(kg)	511.2	486.8	507.7
ロース芯面積(cm ²)	61.5	60.7	59.7
バラ部厚(cm)	8.2	7.7	8.1
皮下脂肪厚(cm)	2.9	2.5	3.7
BMS No.	6.3	5.3	5.3
BFS No.	3.0	3.0	3.0

28ヵ月齢で出荷

枝肉断面写真 (帯広畜産大学口田研究室提供)



枝肉断面写真 (帯広畜産大学口田研究室提供)

